

区の目標(何をめざすのか)

子どもが輝き、みんながしあわせなまち

区の使命(どのような役割を担うのか)

区民一人ひとりの人権が尊重される社会の実現を基本に、「みんなで子どもを育てるまち」「みんなが健康で安心して暮らせるまち」「みんながつながるまち」に取り組む。

令和4年度 区運営の基本的な考え方(区の方針)

- 「子どもたちのゆめを広げる」「子育てのまち・教育のまちにする」「みんな健康で元気になる」「不安ゼロのまちにする」「互いの顔を知っているまちにする」「困ったときはお互い様のまちにする」という6つの視点に基づく施策を推進する。
- 「都心にほど近い、便利な暮らし」「穏やかで地に足ついた、ゆとりある暮らし」「農とスポーツのある、健康的な暮らし」「長居公園のある暮らし」という4つのめざす暮らしのあり方の実現のため、大学や企業等と連携した取組を実施する。
- 区民の区政への関心を高め、区政に区民の意見を反映する。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に留意しながら、市民サービスの維持向上に取り組む。

重点的に取り組む主な経営課題(様式2)

経営課題1 みんなで子どもを育てるまちづくり

経営課題の概要	主な戦略
子育てや教育に様々な人や団体等が関わることで、子育て教育環境が良い、みんなで子どもを育てるまちにする。	【1-1】子育て支援 【1-2】教育支援
主な具体的取組(4年度算定見込額)	
【1-1-1】子育て家庭への支援(24,489千円) ・東住吉区子育て支援連絡会との協働による子育て施策の展開及び情報提供	【1-2-1】ニーズに応じた学校への支援(9,651千円) ・障がい児童支援員によるサポート、民間講師や魅力ある学校づくり応援団制度の活用等による学校への支援を実施

経営課題2 みんなが健康で安心して暮らせるまちづくり

経営課題の概要	主な戦略
健康づくり・防災・防犯に様々な対策がとられ、区民の意識が高く、みんなが健康で安心して暮らせるまちにする。	【2-1】健康に暮らせるまちづくりの推進 【2-2】安心して暮らせるまちづくりの推進
主な具体的取組(4年度算定見込額)	
【2-1-2】福祉相談ネットワークの強化(50,618千円) ・区内14地域の「地域相談窓口」に地域福祉サポーターを配置し、相談対応を実施	【2-2-1】防災力の強化(4,913千円) ・地域の自主的、自律的な防災訓練の支援等を実施し、自主防災組織の機能強化を図る。

経営課題3 みんながつながるまちづくり

経営課題の概要	主な戦略
区民相互が交流と助け合いを行い、地域の自主的なまちづくり活動が活発に行われている、みんながつながるまちにする。	【3-1】区民相互のつながりづくりへの支援 【3-2】地域活動協議会による自律的な地域運営の促進
主な具体的取組(4年度算定見込額)	
【3-1-1】区民相互の交流活動への支援(10,613千円) ・様々な地域団体や企業等の参画のもと地域ニーズに対応した手法で事業を実施し、区民相互の交流活動をサポート	【3-2-1】地域の自主的なまちづくり活動への支援(43,459千円) ・地域の実情やニーズに合わせた広報等の実施や地域の担い手の知識・技術の習得・向上の促進策をはじめとする地活協への支援

経営課題4 区民と共に創るまちづくり

経営課題の概要	主な戦略
区民の区政への関心が高く、区民の意見を反映した区政運営がされるまちにする。	【4-1】区政情報の広報 【4-2】区民の意見を反映した区政運営の実現
主な具体的取組(4年度算定見込額)	
【4-1-1】広報媒体と内容の充実(26,187千円) ・広報紙やホームページと公式SNSを連携させ、相互の情報をクロスメディア手法により効果的に発信	【4-2-2】区民等の参画と協働(3,088千円) ・区政会議をはじめとした区民等の参画と協働による区政運営

「市政改革プラン3.1」に基づく取組等(様式3)

主な取組項目	取組内容
【取組項目1】 国民健康保険料の収納率向上 (改革の柱 3 - 3 (4))	・ 現年度滞納者を中心に納付督促及び財産調査を実施 ・ 差押予告の送付、滞納処分の強化 ・ 新規加入者への保険証交付時に口座振替勧奨
【取組項目2】 次代を担う職員の育成 (改革の柱 5 - 1)	・ 「東住吉区おもてなしプロジェクト」を継続実施し、各課を横断した全職員の意識向上の取組を推進 ・ 職員の対応力向上に向けたスキルアップ研修の実施
【取組項目3】 働きやすい職場環境づくり (改革の柱 6 - 1)	・ ワーク・ライフ・バランス推進期間の設定及び超過勤務の縮減(ノー残業デーの追加など) ・ ワーク・ライフ・バランス推進委員会を通じた育児・介護・病気の治療と仕事の両立にかかる各種制度の周知徹底及び啓発

◆自己評価

1 年間の取組成果と今後取り組みたいこと

解決すべき課題と今後の改善方向



経営課題 1 みんなで子どもを育てるまちづくり

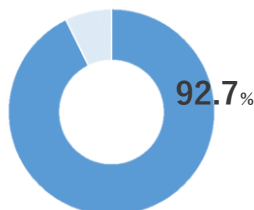
めざすべき将来像(最終的なめざす状態)＜概ね10～20年間を念頭に設定＞

子育てや教育に様々な人や団体等が関わることで、子育て教育環境が良い、みんなで子どもを育てるまち

子育て支援

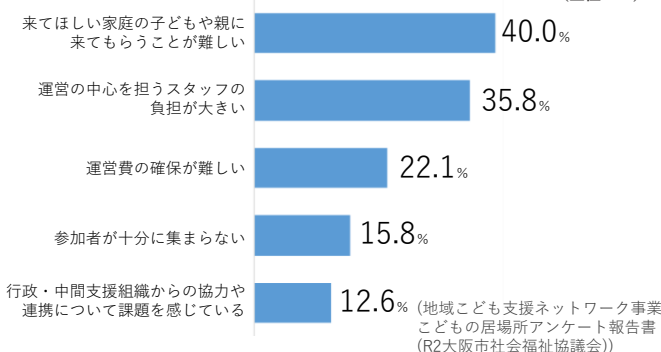
現状 ＜課題設定の根拠となる現状・データ＞

子育てについて相談する人(場所)がいる(ある)と感じる区民



(令和3年度子育て世帯向け区民アンケート)

「子どもの居場所活動」に取り組んでいる団体が運営にあたり感じている課題(上位5つ)



要因分析＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因の分析結果＞

【子育て家庭への支援】

- 子育てに不安や負担を感じている人が気軽に周囲に相談できず、地域で孤立する傾向にある。

【子どもの居場所づくり】

- 子どもの居場所を運営または開設を検討している地域の団体等は、活動内容によって異なる様々な課題を抱えている。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

【子育て家庭への支援】

- 子育てに不安や負担を感じている人が孤立しないように、関係機関等と連携し、状況に応じた適切な支援・相談・情報提供等を行う必要がある。

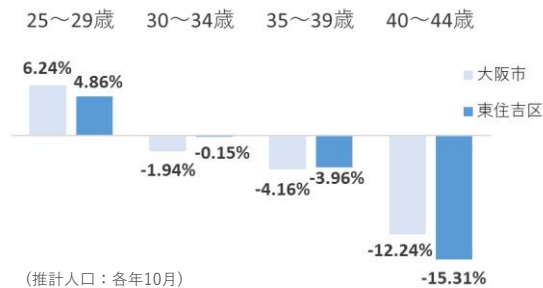
【子どもの居場所づくり】

- 運営または開設を検討している地域の団体等に対し必要なサポートを行うことで、居場所の充実と実施箇所数増を図る必要がある。

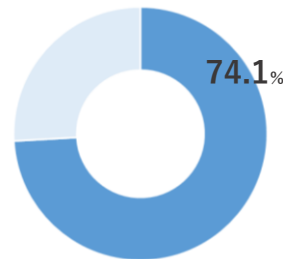
教育支援

現状 ＜課題設定の根拠となる現状・データ＞

人口増減(H29→R3)



将来の夢や目標を持っている子ども



(子どもの生活に関する実態調査(H28))

要因分析＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因の分析結果＞

【ニーズに応じた学校への支援】

- 子育て世帯にとって魅力ある資源が十分に活用されていない。

【子どもの学習・体験機会の充実】

- 子育て世帯が住み続けたいと思える、まちの魅力の発信が不足している。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

【ニーズに応じた学校への支援】

- 学校との連携を深め学校運営に地域の実情を一層反映させていくなど、地域や区が持つ教育資源を活用した取組が必要である。

【子どもの学習・体験機会の充実】

- 子育て世帯に関心の高い分野において、子どもに学習や体験ができる機会を提供し、区の魅力として積極的に発信する必要がある。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

めざす成果及び戦略

1－1

【子育て支援】

めざす状態<概ね3～5年間を念頭に設定>
安心して子育てができる状態
戦略<中期的な取組の方向性>
区内の子育て支援関係機関等と協働して、同世代や異世代間の交流を支援し、子育てにかかる情報提供が子育て世帯に行き届くようにする。 子育てのしづらさや発達障がい(疑い)がある親子を早期発見し、早期に療育が受け入れられる体制を、地域の関係機関や事業所と連携しながら引き続きとるなど、状況に応じた適切な支援・相談・情報提供を行い、子育てに対し不安や負担の軽減を図る。

具体的取組 1－1－1		子育て家庭への支援			
2決算額	18,601千円	3予算額	24,329千円	4予算額	24,489千円
当年度の取組内容					
・ 東住吉区子育て支援連絡会との協働による地域との交流事業を年度内に4回程度実施し子育て情報の提供を行う ・ 子育て支援コーディネーターによる未就学児訪問と虐待を予防する機運を高めるため啓発活動の開催 ・ 4名の家庭児童相談員による養育者への相談体制の充実 ・ 親子サロンを利用した地域妊産婦教室					
プロセス(過程)指標 ＜取組によりめざす指標＞					
①地域との交流事業に満足した参加者：80%以上 ②親子サロンが交流の場となっていると感じる参加者(保護者)：60%以上					
【撤退・再構築基準】 ①50%未満かつ②40%未満					
当年度の取組実績					

プロセス(過程)指標の達成状況

目標の達成状況	取組の進捗状況	戦略に対する取組の有効性	課題と改善策
---------	---------	--------------	--------

中間			
年度末			
前年度までの実績			

(令和3年度)

- 東住吉区子育てOHえんフェスタ・赤ちゃんコンサートの開催。子育てファミリー運動会は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止
- 子育てOHえん情報誌の配架約170か所(主要8駅含む)毎月約2,500部

アウトカム(成果)指標 ＜めざす状態を数値化した指標＞		前年度	今年度	個別 評価	全体 評価
子育てについて相談する人(場所)がいる(ある)区民： 令和7年度末時点で90%以上					
戦略の進捗状況					
戦略のアウトカム 指標に対する有効性	課題				
	今後の対応方向				

具体的取組 1－1－2		子どもの居場所づくり			
2決算額	3,166千円	3予算額	3,519千円	4予算額	60千円
当年度の取組内容					
- 子どもの居場所の運営者間の連絡会議や情報交換・交流といったネットワークを継続・発展させ、子どもの居場所の必要性や効果について積極的な広報や啓発を行う。 - 地域において子どもを見守り、支援を行うために、より早期に実態を把握、区役所・子どもの居場所・学校等が連携し、必要なサービスにつなぐことができる環境づくりを行う。					
プロセス(過程)指標					
<取組によりめざす指標>					
「新たにつながりができた」または「相互情報交換の場ができた」と感じる子どもの居場所活動の運営者・支援者：60%以上					
【撤退・再構築基準】					
30%未満					
当年度の取組実績					

プロセス(過程)指標の達成状況

目標の達成状況	取組の進捗状況	戦略に対する取組の有効性	課題と改善策
---------	---------	--------------	--------

中間			
年度末			
前年度までの実績			

(令和3年度)

- 居場所運営者・関係機関の連絡会議を開催(2回)
- 区役所内プロジェクトチーム会議を開催(2回)
- 居場所運営団体に対する支援情報や参考資料等の提供
- 居場所の広報及び意義の啓発にかかる講演会等の開催

めざす成果及び戦略1－2

【教育支援】

めざす状態<概ね3～5年間を念頭に設定>
区役所やボランティア、地域資源による児童生徒の教育支援体制が整っている状態
戦略<中期的な取組の方向性>
・発達障がい等のある児童生徒の行動面への支援や基礎学力の向上など各学校の課題に応じた教育活動を支援する。 ・地域資源(大学・商店街・企業等)と連携しながら、子育て世帯に関心の高い分野において、子どもに学習や体験ができる機会を提供する。

具体的取組 1－2－1		ニーズに応じた学校への支援			
2決算額	7,496千円	3予算額	9,545千円	4予算額	9,651千円
当年度の取組内容					

- ・各学校と連携し、子どもや保護者にとって魅力ある学校づくりに向けた取組など(学校選択制等)をサポート、発信する。
- ・障がい児童支援員が、学校を通じて、発達障がい児やその保護者等に対するサポートを実施する。
- ・民間講師等を活用した学習支援、魅力ある学校づくり応援団制度を活用した学校支援等を実施する。

プロセス(過程)指標 <取組によりめざす指標>
ボランティアや民間講師等を活用した学習支援等により 子どもの学習支援に繋がったと感じる学校：60%以上 【撤退・再構築基準】 30%未満
当年度の取組実績

プロセス(過程)指標の達成状況

目標の達成状況	取組の進捗状況	戦略に対する取組の有効性	課題と改善策
中間			
年度末			
前年度までの実績			

- (令和3年度)
- ・学校選択制にかかる学校案内の作成・配付
- ・障がい児童支援員が小中学校の特別支援学級に訪問・助言・研修(随時)
- ・民間講師等を活用した学習支援やボランティアの配置
- ・魅力ある学校づくり応援団制度の創設

アウトカム(成果)指標 ＜めざす状態を数値化した指標＞		前年度	今年度	個別 評価	全体 評価
学校支援の取組が小中学校の教育内容充実につながっていると思う区民：令和7年度末までに70%以上					
戦略の進捗状況					
戦略のアウトカム 指標に対する有効性	課題				
	今後の対応方向				

具体的取組 1－2－2		子どもの学習・体験機会の充実			
2決算額	494千円	3予算額	1,975千円	4予算額	1,975千円
当年度の取組内容					

- ・子どもたちにさまざまな学習や体験ができる機会を提供し、能力の育成・伸長を図る。

プロセス(過程)指標 <取組によりめざす指標>
参加者満足度：70%以上 【撤退・再構築基準】 50%以下
当年度の取組実績

プロセス(過程)指標の達成状況

目標の達成状況	取組の進捗状況	戦略に対する取組の有効性	課題と改善策
中間			
年度末			
前年度までの実績			

- (令和3年度)
- ・夏期・冬期集中学習会の実施
- ・子どもの学習・体験機会の充実（芸術文化）事業の実施